

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
宇宿中間地区

平成27年3月

鹿児島県鹿児島市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	避難場所までの平均距離	m	224	158	158	確定 見込み	あり なし	-	-	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業区域内の公園整備が完了したことにより、地域住民のコミュニティの場となる公共空間と災害時の避難場所が確保された。	
指標2	がけの影響を受ける宅地面積	m <sup>2</sup>	5,194	0	0	確定 見込み	あり なし	-	-	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業区域内の法面整備が完了したことにより、防災性や安全性が確保され、安全な住環境が形成された。	
指標3	車が離合できる道路の割合	%	97	100	100	確定 見込み	あり なし	-	-	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	新たな幹線道路や生活道路の整備により、離合が困難な狭隘道路が解消され、大部分の道路で車両が離合できる幅員が確保された。	
指標4	道路の歩道バリアフリー化率	%	45	78	77	確定 見込み	あり なし	78	H27年3月	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	歩道をバリアフリー化することにより、子供、障害者、高齢者を含め、すべての人々が安全でかつ快適に歩行できるようになった。	
指標5	住所のわかりやすさ	%	25	75	88	確定 見込み	あり なし	-	-	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	住居表示実施後のアンケート結果によると、住所がわかりやすくなったと答える方々が多く、住民の利便性が向上した。	
指標6	下水道普及率	%	95	98	99	確定 見込み	あり なし	99	H26年5月	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	公共下水道(汚水)の整備により、下水道処理人口が増加し、市民の快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全が図られた。	
指標7	配水管の耐震化	%	10	16	17	確定 見込み	あり なし	17	H26年5月	-	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	配水管の耐震化を行うことで、地震時における漏水を防止し、地域住民に安定した水の供給が行えるようになった。	

事後評価シート「評価結果のまとめ」から転記

フォローアップの必要のある指標について記入

その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	土地区画整理事業区域内及び周辺地域の居住人口	人	17,878	/	19,071	確定 見込み	/	19,095	H26年4月	/	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業の推進により、住民が安心・安全に暮らせる良好な生活環境が形成され、定住意識の向上が図られたこと、区域内及び周辺地域の居住人口が増加した。	
その他の数値指標2	/	/	/	/	/	確定 見込み	/	/	/	/	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	/	
その他の数値指標3	/	/	/	/	/	確定 見込み	/	/	/	/	改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	/	

事後評価シート「評価結果のまとめ」から転記

フォローアップの必要のある指標について記入

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	良好な住環境の維持	整備改善された道路、公園等で定期的な清掃、点検、補修等を実施。	良好な住環境や都市景観を維持できている、憩いの場として地域住民の公園の利用が進んでいる。	地域住民や町内会等の積極的な参加による公共施設の維持管理(清掃)を推進し、市民と協働したまちづくりを実現する。
	整備された公園を避難場所として活用	鹿児島市地域防災計画における地震災害時の一次避難場所として、整備された公園を指定。	地域住民の避難場所が確保され、災害時の防災対策が強化された。	市ホームページや広報誌などによる住民への周知方法の充実を図っていく。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	住環境の改善	公共下水道の整備及び配水管の耐震化については、整備が必要な箇所が残されていることから、他の事業で一部実施し、公共施設の整備改善を行った。	他の事業で実施し、都市機能の充実が図られた。	引き続き、整備が必要な箇所の整備改善を行う。
	交通環境の改善	都市計画道路宇宿広木線の歩道のバリアフリー化や全線の供用開始を実施し、公共施設の整備改善を行った。	都市計画道路宇宿広木線の歩道のバリアフリー化や全線の供用開始により、交通環境の改善・都心部へのアクセス向上が図られた。	整備された道路等の定期的な点検、補修等を行う。

### フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項